

共に考え学ぶ触れ合いの場 ～EROPA 第 60 回執行理事会・セミナー～

シンガポール事務所

EROPA (Eastern Regional Organization for Public Administration) とは、アジア・太平洋地域の経済及び社会の発展の促進に資するため、各国の行政の質向上を図ることを目的として、1960 年 (昭和 35 年) 12 月に設立された国際組織です。二年に一度開催される総会の他に執行理事会が毎年行われており、今年はベトナムのハノイで開催されました。

1 EROPA 会議

EROPA はフィリピンに事務総局を置き、開発経営センター (韓国)、研修センター (インド) 及び地方行政センター (日本) の 3 つの専門センターを設置しています。「地方行政センター」は自治大学校内にあってセンターの所長は自治大学校長が兼ねており、また、自治大学は EROPA の日本政府代表となっていることから、EROPA の日本における窓口として活動しています。今回の EROPA 会議では、三輪和夫自治大学校長が共同議長を務められました。



執行理事会の様子

クレアは東京本部が団体会員になっていますが、EROPA 会議には開催地域を管轄している海外事務所が代理として出席しています。

EROPA 会議は執行理事会とセミナーを合わせる形で年に一度開催されています。



分科会の様子

執行理事会は、国家代表、団体会員代表及び個人会員代表が EROPA の重要案件を議決する機関です。

セミナーは全大会と分科会で構成され、参加各国の行政研究者が発表を行います。今年のメインテーマは「地域・グローバル統合時代における行政とガバナンス」です。日本からは、全大会で縣公一郎早稲田大学教授が「行政の透明性と説明責任～日本総背番号制度と

地域の合意～」をテーマに発表されました。また、全大会の中で行われた「アジアリーダーシップフォーラム」では、安部孝夫前川崎市長が行政課題に取り組みられた御自身の経験を話されました。

分科会では、若手行政研究員による研究成果の発表と質疑応答が行われました。

日本からも、荒見玲子氏（名古屋大学）、佐々木一如氏（明治大学）、太田響子氏（東京大学）及び小川大和氏（自治大学校）が参加しましたが、Q&A セッションでは日本の発表者に寄せられる質問が多く、多くの参加者が地方行政が抱える各国共通の課題に関する日本の研究や取組みに高い関心を持っている様子が窺えました。

2 エ夫を凝らした演出

執行理事会の翌日に行われた開会式にはグエン・タン・ズンベトナム社会主義共和国首相が出席されました。

当日は、白いレースのアオザイに身を包んだ女性たちが建物入り口から会場まで通路の左右にずらりと並んで出席者を迎えていました。その統一感と優雅さは見事なもので、会議の存在感と価値を高める演出として首相の出席と併せて十分効果があったと思います。

開会式では、オルランド・S・メルカド EROPA 事務局長と中邨章明治大学名誉教授の開会挨拶に続いて、ベトナム首相による基調講演が行われました。



各国代表とベトナム首相の記念撮影



夕食会で披露されたベトナム舞踊

開会式の最後に参加各国（中国、韓国、ネパール、フィリピン、日本 等）の代表によるスピーチが行われ、日本の国家代表として自治大学校の三輪和夫校長が登壇されました。

また夕食会では華麗なベトナム舞踊や歌謡、弦楽四重奏等が披露され、参加者はベトナム文化と芸術を堪能することができました。

3 EROPA 会議に参加して

各国共通の行政課題をテーマとして、その研究に携わる人々が集う場にふさわしく、コーヒブレイクや食事の時間にも活発に意見交換が行われていました。

地方行政に携わる一人として自分がこれまで経験した業務が、他国の関心事に繋がることへの不思議さと、人々の生活における安全と安心、充実と発展のために様々な立場で尽力する専門家の方々の熱意を感じました。

また参加者同士の交流だけでなく、事務局スタッフや会議の運営をサポートしているボランティアの学生たちとの触れ合いも得難い経験です。

会議会場と宿泊場所が離れていたため、バスで参加者を送迎することが学生ボランティアの役目でした。集合時間を徹底させたり、乗り込むバスを間違えないよう誘導したりと、海外からの「お客様」に気を配りながらの業務は、若い学生たちにとって決して簡単なものではなかったと思います。中でも一生懸命全員の名前と顔を覚えようとしている姿は微笑ましく、自信がないときにはそっと確認してから呼びかけるなど、一人ひとりに対し暖かく丁寧に接していたのが印象的でした。

近年、ベトナムから日本への留学生の数は増加しています。日本企業の進出を背景に、就職のために日本語を学んだり、日本への留学を希望する若者が増えているようです。奨学金を受けることができれば日本に留学したい、と話す学生もいました。その希望が叶う日が来ることを願わずにはられません。

来年 2015 年の EROPA 会議は上海で開催されます。そこでもきっと熱い議論と暖かな交流が繰り広げられるでしょう。

<参考>

2014 EROPA CONFERENCE HIGHLIGHTS & DAILY BULLETIN

<http://www.eropa.org.ph/>

(鈴木所長補佐 東京都江東区派遣)